

## 研究・調査報告書

|   |                      |
|---|----------------------|
| 報告書番号   | 担当                   |
| 1 6 5   | 滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門 |
| 題名 (原題/訳)   |                      |
| <p>The impact of alcohol-specific rules, parental norms about early drinking and parental alcohol use on adolescents' drinking behavior.</p> <p>アルコールに特化した規則、若年者の飲酒に対する親の考え、親の飲酒量が思春期の子の飲酒行動に与える影響</p>  |                      |
| 執筆者   |                      |
| van der Vorst H, Engels RC, Meeus W, Dekovic M.   |                      |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日)   |                      |
| J Child Psychol Psychiatry. 2006 Dec;47(12):1299-306.   |                      |
| キーワード   |                      |
| アルコール、飲酒に特化した規則、両親の飲酒、子供の飲酒に対する両親の考え方   |                      |
| <p><b>要 旨</b></p> <p><b>背景：</b><br/>この研究は、アルコールについてルールを設けることや、若年者の飲酒に対する両親の考え方、両親の飲酒が思春期の子の飲酒行動に及ぼす役割について調べたものである。両親の飲酒量や飲酒に対する考え方が両親のアルコールに対する規則に影響しており、それが次に思春期の子供の飲酒を防止すると考えられている。</p> <p><b>方法：</b><br/>両親と 2 人の思春期の子供(13~16 歳)からなる 416 家族の縦断データを分析した。</p> <p><b>結果：</b><br/>構造的平均化モデルによると、明確な規則がある場合思春期の子供の飲酒機会は減った。しかし、長期的なアルコールに特化した規則は比較的早くからの飲酒を通じ、思春期の子の飲酒に間接的な影響を及ぼしただけであった。飲酒開始要因の説明に焦点を当てて解析すると、厳格なルール作成は思春期の中の若年層と高年層では飲酒開始年齢が遅れることと関連していた。さらに思春期の早い段階からの飲酒に対する両親の考え方と両親の飲酒は飲酒に特化した規則があることと関連していた。両親の飲酒に対する判断基準も思春期の飲酒と関連していた。</p> <p><b>結論：</b><br/>この研究は、アルコールに特化した規則が思春期の飲酒にどう影響するかを洞察するために、初めて家族全員をデザインに組み込んで行った研究の一つである。厳格なルール作成は飲酒開始を遅らせることと関連していた。アルコールに特化した厳格なルール作成は、他の要因に依存していることが示された。また、思春期の飲酒開始に親が与える影響の複雑さが示された。</p> |                      |